

2014.10月

# もりのものがたり

秋号

100年後の<sup>みどり</sup>森林のために

第4号



福岡県宗像市 平山天満宮の大楠

福岡県広域森林組合発行 広報誌

JForest ふくおか

## 第2回通常総代会

**平成26年7月29日（火）  
レスポアール久山にて開催**

平成25年4月1日に広域合併し、1年間を通した通常総代会（平成25年6月1日～平成26年5月31日まで）を7月29日に開催しました。

総代数197名中本人出席者119名、書面による議決権の行使等73名で本総代会が成立しました。

冒頭に出席者全員で森林組合綱領を唱和し、本店事業課山田久能が福岡県広域森林組合基本理念を唱和しました。

次に白井代表理事組合長より「平成25年度第2期は計画事業量には、やや届きませんで、計画を上回ることが出来ました。これは組合員の皆様のご協力や、関係各機



酷暑の中、出席頂いた総代の皆様

関のご支援によるものと皆様に厚くお礼申し上げます。」との挨拶がありました。

続いて、議長に福岡西支店管内の福岡市早良区の細川淳治氏を選出し、上程された6議案についてすべてが原案通り可決されました。

当時は、福岡県福岡農林事務所大坪靖典所長、久山町久芳菊司町長、福岡県森林組合連合会亀石達朗代表理事専務等多くの来賓の出席を得ました。

また、長年にわたり森林組合の運営に努力された前組合長の中村晴男氏（那珂川町）、作業班長として40年近く森林作業に努力されてこられた佐藤邦英氏（嘉麻市）、佐藤光良氏（嘉麻市）、神谷富夫氏（岡垣町）の4氏に

対して組合長から感謝状が贈呈されました。

平成26年度借入金最高限度額決定の件

平成26年度役員報酬決定の件

平成26年度事業計画書決定の件

平成26年度事業報告書承認の件

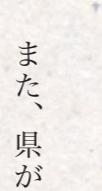
平成26年度第2期事業報告書承認の件

平成26年度事業計画書決定の件

平成26年度事業報告書承認の件

平成26年度事業計画書決定の件

平成26年度事業報告書承認の件



ステージ全景



来賓挨拶を行う久山町  
久芳菊司町長

**A** 各支店にお尋ねになればわかるようにしたい。補助金等の資料については、総代会資料に添付したい。自分の山の手入れをすることとは問題ないが、補助金を貰うには、その性格上個人申請では困難である。

なお、可決された議案は次のとおりです。  
**A** 作業方法の要望ということでおりたい。

**A** 福岡西支店の管内で境界の確定を計画的に順次やつていくと聞いていたが、境界確定について組合はどのような計画をしているのか。

**A** 境界の確定は、所有者にとても仕事をする組合にとつても大事なことです。今後は、森林経営計画を作成して、搬出間伐を行いう場合は境界の確定が必要となりますので、事業に必要なところから進めます。

**A** 現在原田加工場検討委員会を設置して方向性を鋭意検討しています。要望ということで承ります。

**A** 現在原田加工場検討委員会を設置して方向性を鋭意検討しています。要望ということで承ります。

**Q** 間伐を行うと国や県から補助金が出ていくと思うが、山主の費用がいくらかかるのかよくわからない。表にして支店でも見られるようにしてほしい。自分の山は愛着があるから自分で仕事をしててもよいのではないか。

**Q** 県の森林環境税につきましては、事業の後半に入りましたので、他の組合等と連携を深め、事業の継続に努力いたします。特に事業進捗の遅れている地域での荒廃森林再生事業に積極的に取り組み、森林再生を図っています。

**Q** 昨年度から取り組んでいる地域の利用につきましては、積極的

に木材の活用を図るよう関係行政機関に要望し、公共建築物等に組合が木材を供給する体制の整備を図ります。

**Q** 平成26年度は、関係機関の入札制度の改正等で厳しい状況が予想されますが、役職員一同事業計画達成のため努力いたします。

**Q** 県の森林環境税につきましては、事業基本計画の中の森林経営計画の樹立目標面積達成に向け、より一層計画樹立を推進します。

**Q** また、県が策定した「森林・林業基本計画」の中の森林経営計画実と林業機械の配備を進めます。路網整備を図りながらコスト削減に取組み、組合員の皆様に利益還元ができるよう努めます。この事業計画を着実に実施することにより、組合経営の安定化と作業班員等の雇用の場の拡大につなげます。

**Q** このような中、当森林組合管内の人工林は、植栽後50年を超す部分が大半を占めております。また、都市部の里山が多く、これまで収益を得る機会がないまま成長を続けています。

**Q** このことによつて、人工林の高齢化が進み林業の持つ循環サイクルが崩れようとしています。

**Q** このため、福岡県においては、平成26年度から新たに主伐に対する補助制度（前回第3号に内容紹介）を創設しました。組合では、この制度をしっかりと組合員の皆さんにご説明しながら主伐事業に取り組み、素材生産量の拡大に努力します。

### 平成26年度事業計画について

平成26年6月1日から

平成27年5月31日まで

このことによつて、人工林の高齢化が進み林業の持つ循環サイクルが崩れようとしています。このため、福岡県においては、平成26年度から新たに主伐に対する補助制度（前回第3号に内容紹介）を創設しました。組合では、この制度をしっかりと組合員の皆さんにご説明しながら主伐事業に取り組み、素材生産量の拡大に努力します。



表彰者左から  
中村晴男氏、佐藤邦英氏、佐藤光良氏、神谷富夫氏

### 貸借対照表(平成26年5月31日現在)

資産の部		負債及び純資産の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	945,651	流動負債	262,816
有形固定資産	476,994	固定負債	210,315
無形固定資産	1,387		
外部出資	44,202		
その他固定資産	4,724		
資産合計	1,472,960		

### 損益計算書

(自平成25年6月1日 至平成26年5月31日)

(単位:千円)

科目	金額
事業総利益	592,407
1 指導事業	14,257
費用	4,900
2 販売事業	123,865
費用	55,536
3 加工事業	88,061
費用	97,502
4 森林整備事業	1,285,828
費用	761,665
事業管理費	537,197
事業利益	55,210
事業外収益	3,419
事業外費用	35
経常利益	58,593
特別利益	33,252
特別損失	33,955
税引前当期純利益	57,891
法人税等合計	20,262
当期純利益	37,629
前期繰越純利益	1,659
当期末純利益	39,288

### 平成25年度第2期 剰余金処分計算書

適用	金額
当期末処分剰余金	39,288
剰余金処分額	30,000
1 法定準備金	10,000
2 任意積立金	20,000
次期繰越剰余金	9,288

※単位未満の数値を切り捨てて表示していますので、加減した数値は一致しない部分があります。

# 平成26年度 支店別主要事業の紹介

本店 参事 坂田俊夫

国は、森林・林業の再生を図るために2020年までに、木材自給率を50%以上にするという目標を掲げています。

戦後、植林された人工林も成熟し、如何に木材利用促進を図つていかが組合に求められています。このことから、森林経営計画を作成し、各地区で説明会を開いて同意を得たところから、順次搬出間伐及び主伐を実施していく予定です。

よつて、森林組合本来の使命であります森林所有者の所得向上を目指し、組合員の負託に応えて参ります。

本店の森林経営計画作成市町は篠栗町・久山町で、今年度は古賀市・宇美町・須恵町を計画しています。次に、平成26年度の主な事業計画は販売部門で、篠栗町・久山町で搬出間伐33.92ha(2,250m<sup>3</sup>)主伐4.62ha(1,450m<sup>3</sup>)を実施し、林業収益を得られるよう努力します。

加工部門については、現在、原田加工場検討委員会で今後の方針について協議を重ねています。今年度は、試行期間のため取扱事業を見込んでいます。事業計画達成に向け福岡南支店職員一同事業推進に努めてまいりますので、関係市町及び組合員皆様のご協力をお願い致します。



主伐作業でのグラップルによる材の整理

また、関係市町及び個人から受注している利用事業につきましては、市街地で法面樹木の伐採作業等が例年より増え現在も好調に推移していますので、平成26年度におきましても、ほぼ前年度並みの事業を見込んでいます。

事業計画達成に向け福岡南支店職員一同事業推進に努めてまいりますので、関係市町及び組合員皆様のご協力をお願い致します。

嘉飯山支店としての重点目標は、林産事業での材の搬出量増加です。昨年度は約6,700m<sup>3</sup>の実績でしたが、今年度は8,000m<sup>3</sup>を目指します。

その目標を達成するためには森林経営計画の樹立面積を増やす必要があります。すでに今年度に入っていますから、嘉麻市の泉河内地区、馬見地区、熊ヶ畑地区で座談会を開

度並みの計画をしています。また、松くい虫防除・駆除事業は、昨年0千円と昨年度実績より15,800千円の減額計画となりました。被害の拡大が深刻化している、松くい虫防除・駆除事業は、昨年

森林整備事業は、林業労働力確保支援事業など新規事業に取り組みます。荒廃森林再生事業及び治山事業（防風工外工事）などの施工箇所の減少により149,800千円と昨年度実績より149,800千円の減額計画となりました。

嘉飯山支店としての重点目標は、林産事業での材の搬出量増加です。昨年度は約6,700m<sup>3</sup>の実績でしたが、今年度は8,000m<sup>3</sup>を目指します。

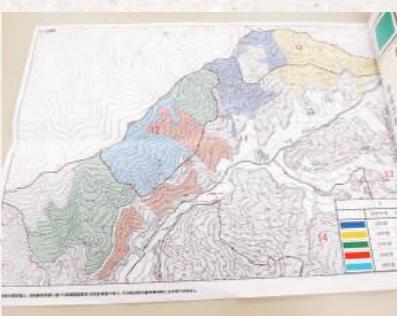
その目標を達成するためには森林経営計画の樹立面積を増やす必要があります。すでに今年度に入っていますから、嘉麻市の泉河内地区、馬見地区、熊ヶ畑地区で座談会を開

度並みの計画をしています。また、松くい虫防除・駆除事業は、昨年0千円と昨年度実績より15,800千円の減額計画となりました。被害の拡大が深刻化している、松くい虫防除・駆除事業は、昨年

画量を1,000m<sup>3</sup>としており引き続き、篠栗町学校木質化の床・壁材の製材等を行います。

森林整備部門の森林整備については、荒廃林再生事業を始め保安林改良事業、市町有林等で182haの森林整備を行います。更に利用事業では、支障木伐採及び道路草刈等の受注確保に努めます。

以上、事業計画達成のため皆様方のご協力をよろしくお願いします。



篠栗町 森林計画図面

福岡西支店 支店長 築地山治

平成26年度は、3ヶ月を経過した時点で順調に事業を進めております。現在は福岡県・福岡市・福岡市水道局発注の森林の保育事業を中心に事業を行っております。販売部門の受託林産事業も現在



福岡市東区 海岸防風林の松くい虫防除



那珂川加工場 製材風景

福岡南支店 支店長 石橋義朗

3ヶ所の団地で搬出間伐に着手している状況です。また、福岡市東区の松くい虫防除事業において、初めて無人のヘリによる薬剤散布を行いました。

今年度にはウインチ搭載のグラップル2台、フォワーダー1台をラップル事業で新規に導入し生産を行います。

今年度の事業計画内容は、受託林産事業（間伐）で、事業量を昨年度実績に対し150%増の66ha(7団地)で4,700m<sup>3</sup>の取扱計画を立てており、部門全体で、5,500m<sup>3</sup>の取り扱いを行う予定です。

森林経営計画も新規に2団地を樹立し、早期に間伐を実施する予定です。

福岡西支店の主要部門であります、森林整備部門の森林整備・治山事業では昨年度より多い250,000千円の事業を見込んでおり、利用事業・購買事業につきましては昨年度並の事業計画としており、総事業収益で320,000千円の計画をしております。

福岡西支店の樹立をしておりま

す、森林整備部門の森林整備・治

山事業では昨年度より多い250,000千円の事業を見込んでおり、利用事業・購買事業につきましては昨年度並の事業計画としており、総事業収益で320,000千円の計画をしております。

福岡西支店では、支店管内以外からの貢献製材等の依頼も増えつつ、組合員皆様からの依頼をお待ちしております。

森林整備部門では、荒廃森林再生事業を中心に関係市町と連携しながら事業実施（荒廃森林調査355ha・間伐等80ha）に取り組み、手入れが遅れたスギ・ヒノキ林を整備し、緑豊かな森林に再生するように努めます。

もう一つの重点目標は、利用事業です。昨年度はダム事業、建設会社、土木会社などの下請作業、また個人からの住宅周辺の伐採などで約126,000千円の事業受注がありました。嘉飯山支店では利用事業の専門班を現業職員で編成しております。また利用事業の得意な請負班にも協力を仰ぎ、昨年度を超える受注を目指します。



熊ヶ畑地区での森林経営計画の説明会

資材からソフトウェア開発まであらゆる面で林業をサポートします

株式会社竹谷商事 TEL: 096-368-3548 FAX: 096-367-7584

**TAKETANI**

mont-bell

<http://www.taketani.co.jp>

kumamoto@taketani.co.jp



少花粉コンテナ苗生産

### 秋ミョウガの甘酢漬け

《材料》

- 秋ミョウガ (1kg)
- 米酢 (1ℓ)
- 砂糖 (適量)

#### 山のレシピ

#### 作り方



#### ミョウガのお寿司

\*この料理の紹介者は、宮若市三ヶ畠の安田節子さんです。

**福岡県農林業総合試験場  
資源活用研究センター便り（3）**  
**「低コスト造林の切り・少花粉コンテナ苗」**

福岡県では、今年度から「主伐で元気にプロジェクト助成事業」を実施し、計画的な伐採と造林による森林世代サイクルの回復を推進しています。このため県では、「コンテナ苗を活用した一貫作業システム」の導入を推進しています。

福岡県の造林面積はここ数年概ね、300ha・苗木生産本数は100万本で推移しています。平成25年度のスギ苗生産量は47万本と約半数を占めていますが、少花粉サシスギは6万9千本の生産です。コンテナ苗は少花粉のサシスギが約1万本生産されています。

そのほとんどが国有林内に植栽され、県内での植栽実績は平成22年度から一部試験的に植栽されています。このため県では、「コンテナ苗による植栽」を活用した一貫作業システムの導入を推進しています。

#### ◆コンテナ苗とは

底の空いた硬質のプラスチック300cc容器を地面から浮かして育苗されたもので空気根切りをして、まつすぐに根が伸びるのが特徴です。細根が発達した円柱状に成型された根鉢を持つ「鉢付き苗」で、1年間を通して植え付けを行うことができます。植え付けは、コンテナの形に合わせた専用の器具を使用して地面に穴を開けて行うことから、植え付け行程を大幅に短縮できます。

伐採作業に合わせて、同時に植栽作業を行う「コンテナ苗を活用した低コスト一貫作業システム」により造林コストを削減することで林業経営の安定が見込まれます。

※「コンテナ苗植栽による低コスト造林実証事業」のお知らせ

朝倉農林事務所管内（うきは市大字小塩）で一貫作業システムにより平成26年8月下旬・9月下旬。2月にコンテナ苗を植栽し、地掘え経費・植栽経費・下刈り経費等のコスト分析を実施中です。また、コンテナ苗の改良が進み、幹が直で根系が充実する等品質が向上しています。興味のある方はいつでも見学においでください。

（林業普及課 0942（45）7868）

## 森林経営計画のご紹介

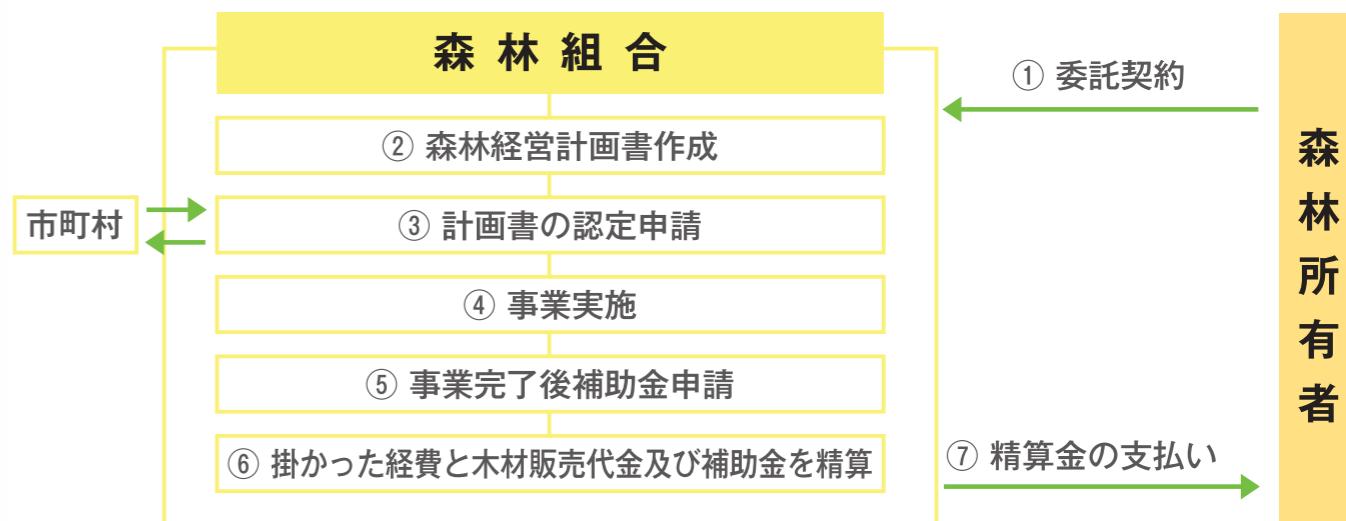
森林経営計画とは、一体的なまとまりをもった森林を対象として間伐や主伐等の森林の施業を行なう5年間の計画です。森林を集約化することで、施業の効率化を図ります。また、計画をたて作業をすると間伐等の高率の補助金の支援を受けることができます。

森林組合では、森林所有者の山の管理・施業を組合に委託していただたうえで、経営計画を作成し、搬出間伐や主伐事業を推進しております。

事業では、材を搬出するための森林作業路を開設し、高性能林業機械を利用することにより、施業の低コスト化を図っております。伐採搬出にかかる経費を抑えることで、木材代金と補助金を精算した時、森林の所有者の皆さまへ少しでも多く木材代金をお返しできるよう努めています。



#### 事業の流れ



当組合から計画に係る同意や委託のご説明に伺った場合は、本趣旨をご理解の上ご協力頂きますようお願いいたします。

森林経営計画に関するお問い合わせはお近くの支店・支所までご連絡ください。

昭和52年設立。現在の会員数は16名（男13名、女3名）で、糸島市農業公園ファームパーク伊都国内にある木工体験施設「トンカチ館」を拠点に活動しています。現在の主な活動は、

### （1）トンカチ館の運営

平成7年より市の運営委託を受けてトンカチ館の運営を行っています。現在、年間2千名近い利用者の木工体験の受入れ・指導の他、間伐材の製材加工から、木工製品の受注製作等も実施しています。2年前にレーザー加工機を導入してからは、看板や杉の賞状等の製作も人気です。



トンカチ館

### （2）大人気、My箸づくり

カンナと簡単な治具を使って誰でも上手にできるMy箸づくりはトンカチ館の人気メニューです。要望があれば、出張My箸づくりも実施しています。



森の健康診断



林業塾

### （3）糸島木の駅プロジェクトの活動

今、特に力を入れているのが糸島木の駅プロジェクトの活動です。優れた森林体験プログラムである森の健康診断や森づくりシンポジューム、林業後継者を対象とした週末林業塾等を開催しています。さらに糸島市木の駅「伊都山燐」へC材を搬入するなどして、糸島の森林の活性化を図るために幅広く活動を展開中です。

## 林家紹介



堀 正幸さん

今回紹介する林家は、嘉麻市千手区長野地区（標高350m）にお住まいの堀正幸さんです。堀さんは地元嘉麻市に山林を所有し、自分で山林の手入れをされています。また、稻作も7ha経営することとともに、嘉飯山支店の作業班長として、多くの現場で活躍してもらっています。

堀さんが林業に従事したのは昭和46年。父親がやはり森林組合の作業班長と県営林の看守人をしており、父親の下からのスタートでした。それから43年になります。作業班の班員の中には、作業班3代目となる二人の息子さんも所属し、山仕事に取り組んでいます。親子ならではの手際の良さもあり、チームワークがとても良いです。

堀さんは、作業班長として作業の効率化を図るために欠かせない高性能林業機械を何台も保有しています。昨年は、その高性能林業機械を使用して作業道を作設してもらい、



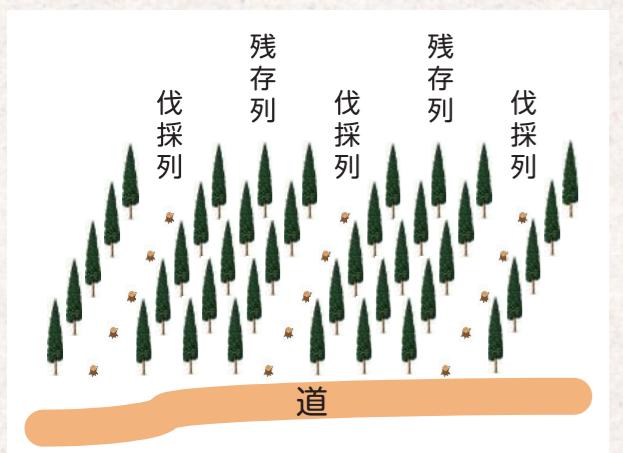
多くの材を搬出していただきました。高性能林業機械を使用することで、伐採・集材・玉切り造材などの作業効率は格段に上がりります。林内で作業するにあたり心掛けていることは、残存木を傷つけないようになります。どうぞ安心して作業をおこなつても、残存木を傷つけてしまつては次回の間伐のときに支障になつてしまふからだそうです。

堀さんの話では、『日本の林業は以前に比べ衰退している。又、一般の方の山に対する意識も以前に比べ低下して、整備のされない荒廃した山も多くなっている。今後、地元の山の伐採作業を進めることで、整備された森林を残していく』と力強くおっしゃられていました。

以前は、架線集材が主でしたが、伐倒した材をいかに短時間で効率よく作業土場に引き寄せることができるかは、常に伐採作業者の悩みです。間伐作業や主伐作業において、伐倒した材をいかに短時間で効率よく作業土場に引き寄せることができるかは、常に伐採作業者の悩みです。

間伐作業による作業道の設置でこの方式は少なくなりました。最近は、短距離の集材に便利なタワーを装備したスイングヤーダ（旋回ブーム式タワー付集材機）が活躍しています。

建設用油圧ショベルに集材用の2胴ウインチを搭載し、主索を用いた材の積み込みや作業道開設といった、集材作業以外にも利用できます。



## 列状間伐

間伐は通常林内の込み具合を見ながら不良木や曲り木等から伐採しますが、列状間伐は、個々の立木の形質にかかわりなく、一定の間隔で1列伐倒します。伐採する列の間隔で1列伐倒して3列残して1列伐倒する方式を3存1伐と呼びます。もう少し強度間伐すれば2存1伐となり間伐率は、33%となります。

## JJA筑紫 第8回ちゃぐりんフェスタ

開催日：平成26年8月23日（土）  
主催者：JJA筑紫

平成26年8月23日（土）JJA筑紫の本店（筑紫野市）にて行われました、JJA筑紫主催のイベント「ちゃぐりんフェスタ2014」に参加しました。

当日は屋外テント会場の体験コーナー内で木工教室を行いました。

晴天にも恵まれて、多くの親子連れで賑わいました。



木工教室

7月24日（木）に那珂川町林業研究会、那珂川町女性林業研究グループの主催で那珂川町の「グリーンピアなかがわキヤンブ村」にて行われた「グリーンパートナー交流会」に参加しました。自然に慣れ親しむ機会の少ない今日、山村と都会の子どもたちを交流させ、森林の機能、森林資源の活用などについて身をもって体験することにより、地域社会と林業のかかわり方を学習する目的で開催され、今年度は那珂川町立安徳小学校・安徳北小学校、大野城市立下大利小学校の児童55名が参加しました。森林の働きについて学び、ヤマメのつかみどりや飯盒炊爨、木工教室を行い、多くの児童で賑わいました。

開催日：平成26年7月24日（木）  
主催者：那珂川町林業研究会  
那珂川町女性林業研究グループ

## 地域の話題

昭和52年設立。現在の会員数は16名（男13名、女3名）で、糸島市農業公園ファームパーク伊都国内にある木工体験施設「トンカチ館」を拠点に活動しています。現



木工教室

# 理事会報告（平成25年度第2期及び平成26年度）

紹介シリーズ 第2回

## ショウケ越（ショウケ峠）

県道60号線は、糟屋郡宇美町

を経由して大野城市へと続く道であり、筑豊地区から大野城市、春日市、太宰府市及び福岡市南

部方面への最短ルートである。

ショウケ越の名前の由来は、神功皇后が宇美で応神天皇を出産した際に、「ショウケ」に応神天皇を乗せて山越えをして大分

に至ったことからこの山越え道を「ショウケ越」と言つそうです。

「ショウケ」とは竹の籠のこと

で、当時は身分の高い人しか使えない貴重品だつたようです。



ひめの さとし  
①姫野 聰  
②福岡西支店 森林整備係  
③森林整備  
④サーフィン  
・おすすめのサーフスポット インドネシア ジャワ島 Gランド  
⑤好きな言葉 「決して驕らず、決して腐らず」



いまとう けいいち  
①今任 啓一  
②本店 事業課 林産係長  
③森林整備他  
④食べ歩き  
・おすすめのお店 ケセラセラ（糟屋郡久山町）  
⑤好きな言葉 「なるようになるさ」



いのまた よしひろ  
①猪又 好浩  
②福岡北支店 事業課 課長  
③森林整備  
④食べ歩き  
・おすすめのお店 福津市中央にある楽亭（ラーメン）  
⑤好きな言葉 「心暗きときは、即ち遇うところごとごとく禍なり」  
何かに落ち込んで気分が暗く沈んでいては、禍に遭遇することが多い。心を常に明るく前向きにしていれば、良いことに出会う。



のがみ としやす  
①野上 敏康  
②福岡南支店 事業課 課長  
③事業全般  
④磯釣り  
⑤コメント  
昨年、組合合併に伴い県森連より転籍してきました。以前は、組合員さんと接する機会がありましたでしたが、今後は組合員さんと交流を深め、事業の推進に努めてまいりますので、よろしくお願いします。

## 職員紹介

このコーナーでは、各地で日々業務に励んでいる職員をご紹介します。

### 記載内容

- ①氏名 ②所属・役職
- ③担当 ④趣味
- ⑤コメント・座右の銘等

- ◎付議事項  
平成25年度定期昇給について
- 第4号議案  
人事案件について
- 第3号議案  
林業機械購入計画について
- 第5号議案  
平成26年度定期昇給について
- 第6号議案  
原田加工場経過報告について
- 第7号議案  
固定資産の処分について
- 第8号議案  
組合員の加入について
- 第9号議案  
理事との契約について
- 第10号議案  
出資口数の減少について
- 第11号議案  
報告事項
- 第12号議案  
原田加工場の経過報告について
- 第13号議案  
箱谷林道維持管理規程について
- 第14号議案  
職員給与規程の追加について
- 第15号議案  
理事との契約について
- 第16号議案  
夏期賞与支給について
- 第17号議案  
報告事項
- 第18号議案  
原田加工場の経過報告について
- 第19号議案  
職員報酬及び予定
- 第20号議案  
事業報告及び予定
- 第21号議案  
林業機械の任意保険
- 第22号議案  
その他

- ◎付議事項  
第1回（平成26年7月2日）
- 第2号議案  
平成26年度事業計画について
- 第3号議案  
平成25年度第2期決算について
- 第4号議案  
表彰（功労賞）について
- 第1回（平成26年7月29日）
- 第2号議案  
役員報酬の割り振り及び支給方法について
- 第3号議案  
平成26年度コンプライアンス委員会の設置について
- 第4号議案  
退職者 横山 陽一（嘉飯山支店長）

## まつり紹介

### 那珂川町伏見神社の「岩戸神楽」

今回は、筑紫郡那珂川町の伏見神社で行われている『岩戸神楽』を紹介します。

福岡南支店の管内である那珂川町の山田地区、国道385号沿いに伏見神社はあります。

この伏見神社の拝殿で毎年7月14日の祇園祭の夜に繰りひろげられるのが、福岡県の無形民俗文化財に指定（昭和29年12月13日）されている『岩戸神楽』です。

古事記の一節で有名な天の岩戸伝説の扉の片方が、那珂川町南面里の戸板にある大岩であると伝えられているため『岩戸』の地名が起こつたといわれています。（筑前国続風土記より）

岩戸神楽は元々、各神社の神官たちが集まり奉納する社家神楽でした。明治維新後の神職による神樂座が廃止されたことに伴い、明治13年に地元の村人が「珍楽社」という神樂座を構成し、今日に受け継がれています。

神楽命和理（：神楽の曲目）（※岩戸神楽では、曲目のことを命和理といいます。）は「神宮」に始まり、最後の「岩戸」まで全部で18演目あります。なかでも最も賑わうのが、「荒神」と「問答」であり、このふ

清祓の神楽 荒神

神樂命和理（：神楽の曲目）（※岩戸神楽では、曲目のことを命和理といいます。）は「神宮」に始まり、最後の「岩戸」まで全部で18演目あります。なかでも最も賑わうのが、「荒神」と「問答」であり、このふ

※資料提供：那珂川町教育委員会、公益財團法人那珂川町教育文化振興財団

たつの舞では鬼が現れて境内を所狭しと駆け回る勇壮な神楽です。この鬼に抱かれた子どもは病氣をせず、丈夫に育つと言い伝えがあります。このように能面系の面を神楽面として多く使つた例は珍しく、貴重な資料とされています。

また、この神社に残されている古い神楽面は、江戸時代の中期から後期にかけて作られたと思われ、その多くが能面の形式を伝えています。このように能面系の面を神楽面として多く使つた例は珍しく、貴重な資料とされています。

尚、古面は平成11年12月20日に那珂川町の有形民俗文化財に指定されています。

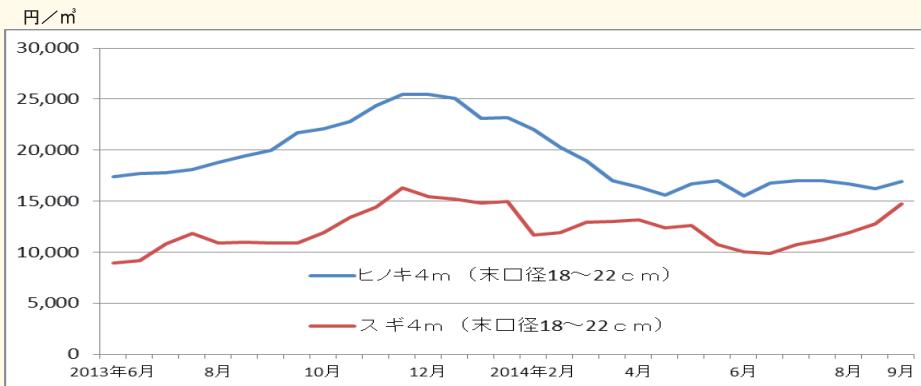
ショウケ越 頂上付近

10

09

素材単価は、梅雨時期に虫入り材等の影響もあり平均の杉材10,000円、桧13,000円をきる単価になりました。しかし、8月以降の天候の悪さから出材は少なく、原本の品薄感からか高単価となっています。桧に関する話題は若干鈍い動きとなっています。

## スギ・ヒノキ木材価格の推移（福岡県森林組合連合会 浮羽事業所市況より）



## 浮羽事業所記念市

福岡県森林組合連合会浮羽事業の記念市が平成26年9月8日(月)に開催されました。今回は当組合からは約800m<sup>3</sup>の材を出しており、全体の約3割でした。



## ～平成26年秋の展示会のお知らせ～

当組合では、毎年2回(春、秋)展示会を開催しております。チェーンソー、刈払機等販売しておりますので、お気軽に立ち寄りください。

福岡西支店	10月19日(日) 10:00~16:00
嘉飯山支店	11月予定



▲春の展示会の様子

## 表紙の説明

大楠のある宗像市は福岡県の北に位置し、玄界灘に近く、東には北九州市が控えています。

表紙の「平山天満宮の大楠」は、宗像市吉留にある平山天満宮の本殿へと向かう階段脇に立っており、昭和50年8月14日に県指定天然記念物に指定されています。

樹高は33.1m、胸高直径は北幹が7.8m、南幹が2.5m、根本回りは14.8mで、推定樹齢は400年位とされています。

ゴツゴツとした瘤、黒々とした幹、四方八方、大小無数の枝を伸ばした大楠は二本立ちの楠で、段差のある斜面の際に立っています。

北側の幹は、地上3m付近から二大支幹に分岐しています。

南側の幹は地上1.5mほどまで北幹と同体ですが、二本の楠が癒着したものか、あるいは、北側の根本から萌芽したヒコバエが成長したものか定かではありません。

